

資源循環型社会のための活動を行っています

廃棄物削減・再資源化

廃棄物の削減と再資源化の取り組み

廃棄物について排出量の削減とともに再資源化を図ることが重要な使命と認識して取り組んでいます。

2012年度にピアノのフレーム製造の(株)カワイキャスティングがカワイグループの一員となりました。鋳物製造時に生じる大量の鋳さいが産業廃棄物として排出されるため、カワイグループ全体の産業廃棄物排出量は2011年度1,089tonから2012年度に3,203tonに大幅に増加しました。その後、(株)カワイキャスティングは生産ラインの合理化、製造方法の改善に取組み、2012年度2,210tonだった産業廃棄物排出量を2016年度には1,204tonにまで削減することができました。その結果、2016年度のカワイグループ全体の排出量は2,242tonとなり、2012年度比で30%削減することができました。

廃棄物の再資源化率についても(株)カワイキャスティングの影響が大きく、カワイグループ全体の再資源化率は2012年度に57%に悪化しましたが、(株)カワイキャスティングで鋳さいの路盤材などへの再資源化を積極的に進めることにより(株)カワイキャスティングの再資源化率が2012年度39%から2016年度に73%と倍増しました。これによりカワイグループ全体の再資源化率は2016年度に85%に向上することができました。

なお、(株)カワイキャスティングを除くカワイグループの産業廃棄物排出量は2015年度982tonに対して2016年度は1,038tonと5.7%の増加でした。2016年度の再資源化率は99.4%で99%以上を継続維持しました。とくに、この中で大きな割合を占める竜洋工場では木くず、木粉は製紙原料、ボード原料、堆肥、燃料他として活用し、フェルトの堆肥化などにより再資源化率100%を達成しております。

今後も廃棄物排出量の削減、再資源化率の向上を目指してまいります。

リサイクル・リユースの取り組み

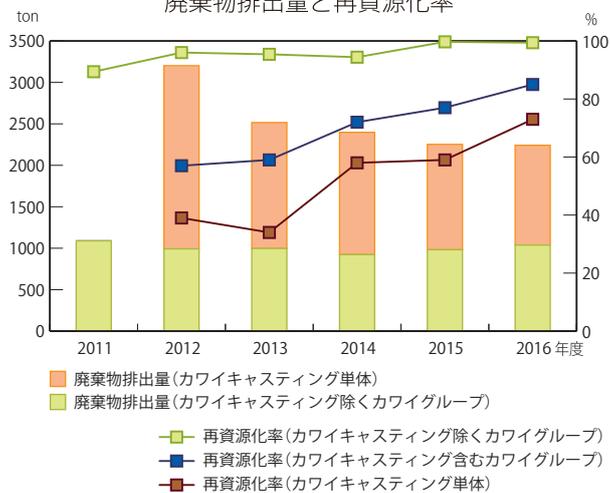
循環型社会形成推進のために拡大生産者責任を踏まえて、ピアノの再生利用と再使用（リユース）を推進するために1998年に(株)ピアノリサイクルを設立しました（現在は(株)河合楽器製作所に吸収合併）。現在、国内統括部のリサイクル担当グループが竜洋工場内で本事業を担当しています。また、日本国内の営業拠点においても下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。

2016年度に国内で約1,050台のピアノが再生、リユースされました。そのうち、33.4%は輸出され、世界の各地で使われています。

メーカーによるピアノ再生

メーカーだからできる仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者が、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。再生は、ピアノづくり90年の製造部門で長年の経験を持ち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から大変好評をいただいています。また、カワイピアノなら純正パーツによる修理・再生も可能で、これも大きな魅力となっています。

廃棄物排出量と再資源化率



廃棄物の再利用（竜洋工場）

下取りしたピアノの再生リユース（2016年）

